

おれんじニュース

No271

2012年10月号



9月13日 17:53 北穂高よりうっすら夕日を帯びた槍を望む 写真提供 鎗水氏

★ 会員一人一人が運営委員です。みんなでオレンジHCの運営に参加しましょう。

★集会・委員会のお知らせ★ 山行の一步は集会参加から				
	10月	11月	時 間	場 所
運営委員会	10日(水)	7日(水)	19:00~21:30	西諫早公民館
ひまわり集会	5日(金)	2日(金)	13:30~15:30	西諫早公民館
全体集会	24日(水)	21日(水)	19:00~21:30	西諫早公民館



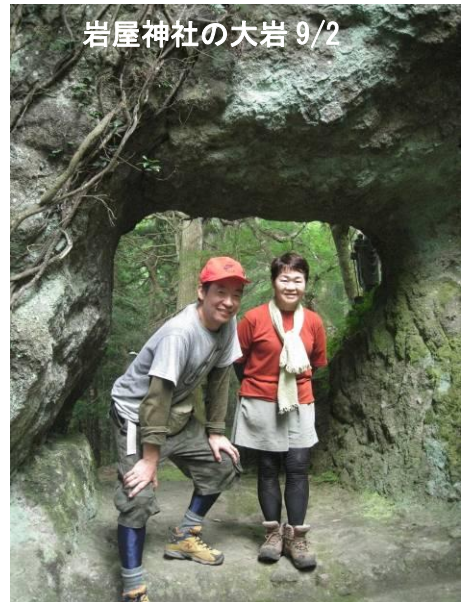
沢 & 浅間山
写真提供
田村さん



8月26日 堀天川の沢メンバー



浅間山 ゆっくり班の人達



岩屋神社の大岩 9/2

ここから槍穂縦走はじまりです



上高地にてまだ疲れてない顔



ひたすら槍へと向かってます



10月山行計画

山の変更です。!!!

部	技術研修部	山行部	ひまわり山行部
月・日	8日(月曜祝日)	13日(土)~16日(火)	19日(金)
山名 (行事)	夜峰山(912.9m) お竈門山(1152.5m)	大台ヶ原	涌蓋山(1499.5m)
地図	阿蘇山	和歌山	湯坪
集合時間	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	10/13 西諫早駅 14:00	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30
難易度	体力1、危険度2	初級	初級
帰着時間	19:00頃	10/16 08:00	19:00
歩行時間	3h	14日 4h / 15日 4h	2h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイクロバス
宿泊施設	日帰り	13,15 フェリー 14、大台荘	日帰り
温泉	垂玉温泉	有り	有り
参加費	5000円	40000円	5000円
申込期限	定員になり次第	9/12	定員になり次第
集約	佐原	田中	林
備考	名のある山に囲まれて 目立たないけど魅力ある山	大雨が育む原生林と屈 指の溪谷美を持つ霊山、 東大台と西大台を巡回	秋の山を楽しむ ススキ、リンドウ等
感想文提出	10/18	10/26	10/29

第12回 登山フェスタ in 雲仙

期 日 10月27日(土)~28日(日)

場 所 有明町「舞岳山荘」(農林漁業体験実習施設)

参加費 2000円(宿泊者) 500円(日帰り)

27日 講 演 「雲仙の四季~花、鳥との出会い」
雲仙パークボランティア会会員渡辺博光氏

交流集会 DVD上映 「伯耆大山の冬山訓練」、「ブータントレッキング報告」

28日 交流登山

A班、雲仙新登山道(健脚)コース

B班、田代原自然観察コース

C班、九千部岳登山コース

D班、舞岳登山コース(8888段)

E班、牛首岩登りコース(雨天時セルフレスキュー)



11 月山行計画

部	自然保護部	山行部	ひまわり山行部	技術研修部
月・日	11/6(火)	11/10(土) 11/11(日)	11/16(金)	11/24(土)(背振山・蛤岳) 11/25(日)(千如寺・雷山)
山名 (行事)	矢上普賢山	九重・中岳・大船 法華院温泉泊	琴平岳(334m) 鳥甲(769m)	背振山キャンプ場 テント泊 翌日雷山(955.4m)登山
地図	長崎東北部	大船・久住	多良岳	背振山・雷山
集合時間	県営バス駅前発 8:23	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 8:00 西諫早駅 8:10	西諫早駅 9:00
難易度	初心者	縦走組・ゆっくり 組の2コースあり	初心者	ゆっくり歩きます。 初心者歓迎
帰着時間	14:06 矢上発	17:00	17:00	11/25・17:00 頃
歩行時間	3h		3h	3h
交通手段	公共交通機関	マイクロバス	マイカー	マイカー
宿泊施設	日帰り	法華院山荘	日帰り	背振キャンプ場/寝袋持 参(オレンジに貸出あり)
温泉		入浴あり		やまびこの湯
参加費	交通費実費のみ	15000	2000 円	6000 円
申込期限	随時	定員になり次第	随時	定員になり次第
集約	中村	田中	林	佐原
備考		紅葉観賞登山	琴平の後、南河内 に移動して登る	千如寺の大楓・雷神社の 大イチョウを見学
感想文提出	11/16	11/21	11/26	12/5

労山特別基金の案内 (10 月で切り替えです)

「日本勤労者山岳連盟」の「労山新特別基金」は 10 月が切り替えとなっています。「労山新特別基金」は労山会員であれば、誰でもいつでも簡単に加入できます。労山の共済制度で営利を目的にしていません。加入者が増えれば給付額の倍率もあがります。海外登山、急病なども補償します。

個人 1 口 1000 円 (10 口まで任意加入できます) 次回の会合で集金予定
(10/10 10/24 が 10 月の会合予定)





あたらしい仲間 ☆ 星子さなえさん

9月からの入会です。よろしくおねがいします。

2012年8月/9月の山行報告



8月19日(日)

金山(967.2m) 獺師岩山 (893.4m)

(参加者) 中須賀、鎗水、山下、田中(静)、下釜、金丸(直)、松園、佐原、中村、林、田村、森、林田
(外)樋口、星子 (15名)

(行程) 諫早駅裏 6:20～西諫早 6:30～8:20 花乱の滝 8:30～金山頂上 11:50～(昼食)13:15
～小爪峠 14:35
～獺師岩山 15:00 同発 15:05～小爪峠 15:20～井手野林道へ下山 15:40～やまびこの湯 16:00～同発 16:50～西諫早 18:20

(感想)

(花乱の滝組)

登山口には予定より早く着いて2班に分かれ、私たち1班は花乱の滝から登った。

花乱の滝は流れの飛沫が花の散る様を思わせる程飛び散るからか、そばに近づくとひんやりして圧巻である。滝は上流にもいくつもあった。15分程行った所に数台の車が止めてあり沢登りを



するらしい人たちがおられた。沢の右側には新しい車道が出来て橋も完成まじかの様だ。

登山道は沢にそっていて心地よい。沢を何回も渡りだんだん疲れも出て来た。沢を渡る時、先に渡ったSさんやMさんがストックをすーとさしだして下さりそれにつかまって渡る。心使いがありがたかった。沢はだんだん小さくなりやがて見えなくなるといよいよ急坂となる。なかなか尾根に出ない。やっと上に出て腰をおろし水分を取ろうとしたら足がつって痛い。一緒に歩いて下さった K



さん、Tさん、ご心配をおかけしました。やっと金山の頂上に着きリーダーから飲み薬を頂いて飲んだらその後はすっかり良くなった。数名の方が登っておられ、とんぼが沢



山飛んでいてここは秋も近いといった感じ。汗をいっばいかいて肌寒かったので服を着替え、カッパまで出して着た。記念写真を撮って昼食を取り2班の到着を待つ。東側から高校生らしい一団が登って来たがあまり休憩もせず西へ下って行った。若い人は元気でいいなー。

2班も登ってこられ、このコースも非常に険しかったとのこと。

1班はお先に小爪峠へ。ブナ林や、シャクナゲ、笹原の九州自然歩道をアップダウンをくり返し歩く。小爪峠から最後の山、獵師岩山がそびえてみえた。途中、頂上は断念しようかと思ったが仲間にはげまされて頂上まで登った。ここも木立に囲まれて展望はあまり良くない。記念写真を撮って小爪峠にもどり佐賀県側の井手野の林道へ下る。バスに乗りやまびこの湯で疲れをいやし一路諫早へ。

今日も良い山行が出来ました。お世話になりました。

(林田 記)

(千石の郷組)

予定になかった坊主ヶ滝に行き、そこから尾根に出るべく直登コースを取ったが、思わぬ難コースで地図では50分の所を130分要した。またこのコースでかなり体力を消耗した為、これらが最後まで尾を引き小爪峠から下山するも予定より1.5h遅れとなる。しかし、坊主ヶ滝は一見の価値があり、また途中の岩場ではボーラインノットで引き上げる実践もできた。時間は十分余裕のある山行であったので焦りはなかったが、ゆっくり組には苛酷であったと思う。また今回初めてロープを使用するところに遭遇し、基本的なロープワークの必要性を感じたと思う。皆さんセルフレスキューに参加する契機になれば幸いです。



(鎗水 記)

8月25日(土)

セルフレスキュー(渡渉訓練)

(参加者) 川原、鎗水、久保(元)、兵庫、山下、林、山本、田中(静)、田村、下釜、久保(陽) (11名)

(感想1) 長らくセルフレスキューをサボっていたが、今日は渡渉の仕方についての訓練である。数日前の全体集会で渡渉の仕方についての座学が行われ、初めての知識でもあり是非身につけておくべきだと考え参加する。

五家原岳登山口先の橋の所、車が2台ほど止められる狭い駐車スペースにはすでに先着があり、



若い男女のグループが沢登りのいでたちで準備をしている。見た目もなかなかにかっこよい。足元を見るとクライミングシューズだ。長崎のボルダリングの仲間らしい。沢に入って涼をとるのだろう。暑いさなか考えることは皆同じか。

小川内容の右俣と左俣の合流点で訓練に入る。初心者も参加しているため簡単なロープワークから始める。10名を越える参加者に、リーダーで講師のK氏も大張り切り。指導にも一段と熱が入っている。

基本中の基本として叩き込まれたブーリン結びはしっかりと覚えており難なくクリア。しかしこれがボーラインノットと呼ばれたり、マスト結びをクローブヒッチと云われたり、他にもムンターヒッチ、ガルダーヒッチなど耳慣れない外来語で使われると、外国語に弱い頭は混乱しっぱなし。

大モミの木へ向かう若いアベックの外人が道を尋ねに来る。すぐさま塾講師のK氏が英語で対応してる。鮮やかなものだ。ふと何故かアメリカ人でオレンジ会員であったMr Aさんのことが脳裏に浮かぶ。英語教師のUさんと談笑している様子や、得意のハモニカを吹奏している姿が思い出される。Mr Aさんは元気にしてらっしゃるのだろうか。

適度な高度と緑の木陰や、フィトンチットに満ちた溪流の涼風は、下界の暑さを忘れさせてくれる。ロープワークも一段落し、いよいよ渡渉要領の訓練だ。連日の好天で水量は少なく水流も穏やか。しかし流れの中央部で激流に足をとられた積もりで水中にザブン。

全身ズブヌレになるとまた気持ちよい。流されるのを最小限にして渡りきる原理と技術



をマスターした。皆さんもそれぞれのパフォーマンスで、水中に倒れる演技を披露しながら楽しく渡渉要領を学んでいった。

昼食後少し沢登りをするようになる。実は今回参加したもう一つの目的は、おニューの溪流シューズの試し履きにあった。いままで、トビ職用の地下足袋にワラジ教室で作った自製のワラジをつけていたが、素人製ではワラジが直ぐ伸びて長持ちしない。その為この数年は沢に入らなかったが、今年の夏の暑さとN氏が沢デビューされたことを聞き、また沢が恋しくなり、大枚をはたいて溪流シューズを買ったのである。小さいが深い淵を泳いだり、ロープで引っ張ってもらったりと、ほんの少しだが皆さん水と戯れ、沢登りの楽しさの一部を味わったのではないのでしょうか。

今シーズンはもう終わりだと思いますが、来夏は一緒に沢を楽しみましょう。

(兵庫 記)

(感想2)

今日のセルフレスキューは渡渉の訓練ということで、黒木大川内左俣で実施された。まずはロープワークの基本から。「エイトノット、ムンターヒッチ、バタフライノット、上半身用ハーネス、全身用ハーネス、シートベント結び、ボーラインノット」

何回も繰り返し教えて下さるので覚えたつもりでいても、時間がたつと忘れてしまう。

出来の悪い生徒で申し訳ない。

ロープワークの次は渡渉。対岸にロープをはって、もっと流れがあると想定しての渡渉。

私は沢の準備をしていってなかったが、この晴天では自然乾燥大丈夫とそのままザブザブと渡る。水が気持ち良い。さらに沢を登る。滑らないように岩に登り、そして足の届かない所を進む。泳げない私は不安そのもの。心臓がバクバクしてる。でも川原さんがロープで確保して下さるので思い切って進む。アツという間についた。出来た！ 鎗水さんが金山の時一本釣りと言ってましたが、今回の私はまさにそのものだったのでは(笑う)。

沢登りは以前2回ほど参加して気持ちよかった記憶はあるが、その後しばらく参加していなかったら、なんだか怖くて一步踏み出すことが出来なかった。でも、今回参加したことでもまた行きたいと思い始めている。ありがとうございました。お世話になりました。

(田中し 記)

8月26日(日)

沢登り (堀天川)

(参加者) 川原、國分、中村、久保夫妻、田村、唐津(1人)、カルチャー長崎(3名)、佐賀労山(6名)
(感想) 西諫早駅に8時15分頃到着。誰もいなかった。集合の5分前になっても誰も来ない。集合時間を間違えたかなと思って不安になってきたら、久保ご夫妻が見え胸をなでおろした。しばらくすると川原さんも見え車で出発。途中で中村さんも合流。黒木方面へ向かった。

1時間ほどで目的地に着いた。國分さんは、すでに準備も整えて待っていてくれた。

佐賀の人、唐津の人、カルチャーのメンバーにオレンジのわれわれが集まり、自己紹介



イワタバコ

をして沢に入った。溪流の音が体全体にしみわたりずーっと沢にいたかのような感じにさせてくれた。一瞬にして下界の猛暑を忘れてしまう。

少し登ると高さがある岩と滝が目前にせまり川原さんがビレーを取ってくれて次々と登って行った。私はその様を見ているだけでドキドキであった。同じような岩と滝が次々と現れて皆さんが次々とクリアされる様子は若さと経験と努力だと感心しました。

私などの初心者は急登のところを巻いて登った。結構、危険な個所も多くて訓練にもなった気がした。休憩のとき、こもれびが差しこみ今年の猛暑を乗り越えれた気分がした。ビレーを取ってくださったり指導してくださった方々、本当に大変だったと思います。ありがとうございました。他県の皆様と、お会いできて楽しかったです。

(田村 記 写真も)

9月2日(日)

浅間山・岳滅鬼山

(参加者) 川原、福岡、中須賀、鎗水、小山、中里、中村、山本、田村、田中(静)、下釜、林、松園、高森、山口、山下、 (16名)

(行程) 西諫早駅 6:30～登山口 9:00～浅間山着 10:30～岳滅鬼山 11:40 同発 12:30
～登山口着 14:30～西諫早駅着 18:30

※いずみ館温泉(14:40～15:15)

(感想) 国道 211 号線と併走する日田英彦山線の線路、鉄橋。この辺りは何度訪れても好きな景色だ。心を癒してくれる。筑前岩屋駅でおなじみのギター青年 外山さんと合流して浅間山・岳滅鬼山へ。今日はひとりで、しかも 1 日中行動を共にするとの事。嫌みのない笑顔はいつも変わらず好感が持てる。登山口までは 7 月の豪雨でマイクロバスは通れないとの事で 800m 手前から歩くことになる。



途中は、落石、倒木で道が荒れていて納得。前回登った時は登山口の表示もなく、“ここだろう”と予測で山に入ったのだが、今回は立派な案内板が立ててある。

健脚組、ゆっくり組に分かれて出発。はじめの徒渉後すぐに急登。ロープを使って登るが枯れ葉と落ち葉で足元が滑りやすい。岩あり尾根ありの道をひたすら登ること 1 時間余り。やっと浅間山山頂(831.5m)へ。木が高く、展望はいま一つ。福岡グループ 3 人と相前後しながら食事も共にする。帰りは一足先に谷ルートを下りるのだが、重なる土石



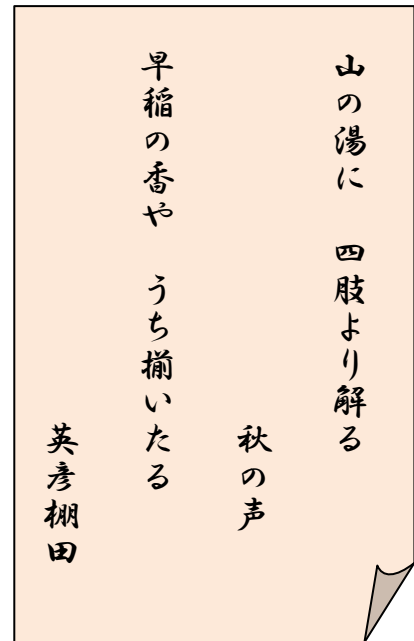
流で登山道も分からず、赤テープを探しながらの下山。先代が植え育てた杉が無残な姿になっていて、何かに利用できないのかな・・・と胸が痛む。その倒木を越えたり、くぐったりしながら思いの外早く下山できた。マイクロバスも登山口まで来ていて今朝歩いた 800m も歩くことなくバスに乗せてもらおう。多分ドライバーさんが石、倒木を排除しながら運転してこられたんだろう。感謝。

雨もポツポツ落ちてきた。途中の岩屋神社で今日の山行の礼を言い、“いずみの湯”で汗を流す。さっぱりしたところで聴くギターの音色が心地良い。青年と別れて一路諫早へ。

真っ赤に燃え大村湾に沈む夕日を見ながら、今日も無事一日遊ばせて頂いた事に感謝し

つつ家路を急ぎました。偵察他でお世話して下さいました。

(山口いつこ 記 俳句も)



9月10(月)～16(日)

槍-穂高縦走

(参加者) 福岡、川原、山本、山下、田中(静)、鎗水、今泉(佐賀労山)、直塚(佐賀労山) (8名)

(行程) 9/10 20:19 諫早IC～9/11 7:14 名古屋～10:05 松本～12:00 上高地～15:40 横尾山荘

9/12 5:45 横尾山荘～13:30 槍ヶ岳山荘～14:25 槍ヶ岳

9/13 6:15 槍ヶ岳山荘～8:50 南岳～13:10 北穂高岳小屋

9/14 5:30 北穂高岳小屋～9:05 涸沢岳～9:20 穂高岳山荘～10:30 奥穂高岳

～11:25 穂高岳山荘～13:40 涸沢ヒュッテ～16:05 横尾大橋～17:30 徳沢ロッジ

9/15 7:30 徳沢ロッジ～13:20 上高地～15:53 松本～19:40 名鉄 BC～9/16 6:34 諫早

(感想1)

中央本線は、昨年11月「木曾路の旅」で歩いた木曾谷沿いに走り、懐かしい景色が交叉する。

槍-穂高縦走は、2008年槍ヶ岳に初登頂した時から挑戦したいルートであった。それに備え、脚腰の鍛錬や岩・セルフレスキューなど技術の習得をやってきた積りであるが、豊富な経験を持つ登山者に比べれば赤子同然である。それで難関の大キレットを踏破するのであるから内心は穏やかならず。

9/12 早朝、横尾を出て槍ヶ岳を目指す。天狗原分岐を過ぎてから、徐々にきつきが増してくるが、槍が見えるため希望も湧いてくる。しかし槍ヶ岳山荘まで最後の500mはとにかくきつい。

4年ぶりに槍ヶ岳山頂に立った。爽やかに晴上り、目指す穂高ルートもくっきり見える。





北壁を上る

9/13 今日も快晴。いよいよ大キレットを踏破し北穂高岳小屋を目指す。大半が岩だらけの縦走路なれど、南岳小屋までは比較的見晴らしの良い稜線歩きが楽しめる。右手中央(西)には端正な山容の笠ヶ岳がいつまでもついてくる。南岳小屋を過ぎてから始まる大キレットは聞きしに勝る難所であった。

長谷川ピークは足場が設置されているとは言え、ナイフエッジの連なりで特に緊張を強いられる。

岩への取り付け方や高度感に慣れていなければ脚がすくんでしまうかも知れない。最後は高度差約 200m の北壁を登攀し北穂高岳山荘に至る。皆さんたじろぐことなく良く頑張りました。

9/14 今日も快晴。北穂高岳からは北に踏破してきた大キレット、南岳、槍ヶ岳が望め、南には今から挑戦する涸沢岳、奥穂高岳が迫る。南東眼下には見覚えのある涸沢ヒュッテやザイテングラードが見える。本日のルートも大キレットほどではないが岩稜歩きである。北穂高岳をスタートし、ドームと言われる岩のピークを過ぎ、最低コルに至る手前で筆者が転倒し、以降体調不良となり涸沢岳の最後の一登りではロープでビレイを取って引き上げてもらい、穂高小屋到着は 50 分の遅れ、かつ筆者は奥穂に登れる状態ではなく、筆者以外のメンバーが奥穂高岳を往復し、穂高小屋～涸沢～横尾のコースに変更して下山した。



奥穂高岳へ登る

若干未完の槍-穂高縦走で有ったが、登山は危険と背中合せである事を身を持って経験した事や、日頃のセルフレスキュー訓練が役立った事の意味は大きい。努力なくしては見ることの出来ない絶景を堪能する事も出来た。危険のリスクを減らす努力を積み重ねながら、もう少し我々の挑戦は続くだろう。(鎗水 記 文中の写真も)

(感想 2)

素晴らしい天気にも恵まれ、一度の山行で沢山の感動をもらいました。槍ヶ岳、大キレット、穂高岳、それに涸沢カールの絶景、絶景。皆さんに励まされて山々をクリアする事ができ、感謝でいっぱいです。有難うございました。(直塚 記)

(感想 3)

槍～奥穂高 縦走出来て良かったです。登ったり下りたりたいへんだったけれど、お天気にも恵まれ、楽しく過ごさせていただきました。遅れる私を捨てる事もなく ハハハハ 感謝です。こけて穴にはまって起き上がれず笑うしかなかった事や、デパート内で右往左往して、わけのわからない小エレベーターに皆でぎゅうぎゅう詰めになった事等々ハプニングも色々ありましたが、それもこれも楽しかったですネエ。これも一重に皆様のおかげです。ありがとうございました。(今泉 記)

9月14日

安満岳 (514m)・鯛ノ鼻 (447m)

(参加者) 小山、兵庫、佐藤、松尾、円能寺、佐原、林田、田中ヒ、岩永ノ、川内、中村、下釜、森、星子、金丸、(会員外1名)岩永 (16名)

(行程) JR諫早駅裏 7:00～西諫早駅 7:10～諫早 IC～西九州自動車道(武雄南)～佐世保～佐々～平戸大橋～鯛ノ鼻 9:30～10:00・安満岳登山口(登山断念)～生月一周観光(塩俵の断崖・大バエ灯台)～平戸大橋公園にて昼食 12:50～13:30～オランダ商館～寺院と教会の見える風景を散策～帰路 14:45 発～西諫早駅着 16:40

(感想) 夜明け前の激しい雨で目を覚ました。西諫早駅前 7 時 10 分発。一時は止んでいた雨が途中から本格的に降り出した。止みそうもなく話し合いの結果、山行は中止にし、生月・平戸観光に変更になった。

途中、昆虫公園の里でトイレ休憩、併設された道の駅では、皆さんお気に入りをお買い物。そして色鮮やかな赤色の平戸大橋を渡る。その頃には小雨になって、鯛の鼻自然公園に行った。駐車場から展望所まで五分位歩いた。霧雨の中の歩きは肌に心地良かった。



晴れた日には海は青く遠くには宇久島・小値賀島々、近くには生月島が見えるが今日は残念ながら視界はゼロ。めげずに集合写真は笑顔でバッチリ！！すぐ近くに安満岳登山口がある。しかし、危険にはあえて近寄らずと云う事で登山は断念。次回の企画を楽しみにして生月島へ。水色の生月橋を渡るとすぐに大観音様が見えてきた。みごとな高さだった。

運よく雨もしだいに上がってきた。「島一周を！」との声上がり、まずは塩俵の断崖へ、名の通り自然の織りなす光景で見ごたえがあった。次に大バエの灯台に行った。大バエとは海に突き出した大きな広い岩棚という意味だそうだ。

島一周を終えたバスは再び平戸へ。昼食場所にと平戸城へ向かうも適当な場所が見つからず、海の見える大橋公園へ。昔、橋が架かって無かった頃は頻りにフェリーが行き交っていた港を見ながら美味しい昼食。午後からは去年開館したオランダ商館を見学した。

館内の人に展示物の説明を聞きながらの見学は分かり易かった。その後は一番の観光スポットである寺院と教会の見える風景を散策。そして又、雨にあう。今回は、あいにくの天候で登山は出来なかったが歴史のある「生月・平戸」観光を大いに楽しめた。リーダーの小山さんは大変、気をもまれた事と思います。楽しい一日をありがとうございました。

(金丸直美 記)





槍ヶ岳



槍ヶ岳より下りる



未明の槍ヶ岳



大喰岳



中岳



笠ヶ岳が美しい



南岳



大キレットの先に北穂高岳がそびえる



大キレット



北穂高岳



潤沢岳



穂高岳山荘



奥穂高岳



槍穂高岳縦走の完結編、奥穂高岳への登頂に向かうオレンジ隊 写真提供鎗水氏



秋の花リンドウ

涸沢カール草紅葉



おれんじニュースNo271	
発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡正廣
編集責任者 及び 原稿送付先	山下ちず子
発行年月日	2012. 9. 26
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.web.fc2.com/

すっかり秋めいてきた今日この頃ですが、オレンジニュースにはまだ秋の草花がさいいていません。最近山に行っても以前ほど、植物にカメラを向けなくなりました。そんな時、田村さんがシュウカイドウの綺麗な写真を持って来てくれました。ありがとうございました。